


# 小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。  
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	Where is the treasure ?
学年	小学校5年生
目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・進んで場所を尋ねたり、道案内をしたりしようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</li><li>・道案内や物の位置を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。また、簡単な語句を書き写すことや文字の音に慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】</li><li>・日本語と英語では道案内の仕方にちがいがあことに気付く。【言語や文化に関する気付き】</li></ul> ※授業は、令和元年10月に実施
教材タイプ	自作教材
使用教材	教員が自作したマップ及びカード
環境	通常形式（場面によってグループ活動を行う。）
都道府県	和歌山県
実施校	橋本市立あやの台小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>本時の目標：道案内の英語表現に慣れ親しみ、道案内をすることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. アルファベットの音の発音練習をする。</li><li>2. マップを黒板にはり、「目的地にたどりつくためにはどの道を通ればよいか」という課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">目的地にたどりつく道順を考えて、英語で道案内をしよう。</div> ※道案内をするだけでなく、英語で、道案内を行うとともに、経由地を通らなければならないことを把握する。</li><li>3. 道案内の英語表現を練習する。 「Go straight」、「Turn right」、「Turn left」<ul style="list-style-type: none"><li>・ Go straight は真っ直ぐ進むんだ。</li><li>・ Turn right は右に向くだけなんだね。</li></ul></li></ol>  <ol style="list-style-type: none"><li>4. 教室内で「道案内をする人」、「道案内をされる人」に分かれ、実際に道案内をする。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 右だと思っていたけど、実際に道案内をしてみると左だった。</li><li>・ 相手が向いている方向を考えて、道案内をしないとイケないね。</li></ul></li></ol>



5. 観光地 (●) とお店 (★) を通り、旅館にたどりつく道順を考え、発表する。

#### 成果と課題

- ・自分が意図する一連の行動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、ひとつひとつの動きに対応した記号をどのように組み合わせればよいかを考えることができた。
- ・「道案内をする人」、「道案内をされる人」に分かれ道案内をする場面で、左右を間違えずに指示することが難しかった。
- ・コンピュータを用いたプログラミング教育にも取り組んできているが、プログラミング的思考を育成するためには、日々の学習活動におけるアンプラグドの指導も重要である。これまでの授業実践を振り返り、両輪でプログラミング的思考を醸成できるよう研究を進めたい。